

「北海道・北東北の縄文遺跡群」の 世界遺産登録の推進について

4道県及び関係市町が一体となって取り組んできた「北海道・北東北の縄文遺跡群」が、今年度の世界文化遺産の推薦候補に選定された。

厳しさを増すユネスコの登録審査を乗り越え、2021年の世界遺産登録を実現するため、関係自治体の一層の連携のもと、推薦書が、来年2月1日までに国からユネスコに提出されるよう、更なる改訂作業を進める。

また、国際記念物遺跡会議の現地調査に向けて、万全の準備を整えていくとともに、登録後も見据えた受入環境の充実、国内外での更なる普及啓発、気運醸成に全力で取り組むことを宣言する。

令和元年10月9日

北海道知事	鈴木直道
青森県知事	三村申吾
岩手県知事	達増拓也
秋田県知事	佐竹敬久